

# 郷うこん修の ホットライン

HPは「郷右近修」と検索して下さい。

NO. 603

発行：日本共産党豊明市委員会

2020. 3. 12

連絡先：☎97-0842

Eメール：qi g ja681@ybb. ne. jp



## 誤操作防止装置に自治体の補助……前向きに検討へ (自動車の事故防止の施策充実を)

3月議会の一般質問で豊明市が後付けの誤操作防止装置に対する補助制度を前向きに検討していくことがわかりました。自分で自動車を運転して生活している高齢者や住民の交通安全を守る取り組みの一つが前進したといえます。

### ◆車は必要だが、買い替えるお金が…

各地で高齢者の誤操作が原因と思われる自動車の事故が起き、運転者、通行者が被害にあっています。高齢者は運動機能、認知機能が低下してゆくため、免許更新時に検査をするなど、運転が可能かを見極める取り組みが模索されていますが、衰えてゆく途中の運転者には車両に安全装置を設けることも重要。

ここ数年生産されている車両は自動ブレーキなどを標準装備するものも増えていますが、年金生活の方だとその目的だけで買い替えをするのはつらい。費用を抑えていま使っている車両に取り付けられる誤操作防止装置も開発されていますがそれでも数万円かかります。

### ◆昨年9月の一般質問で取り上げ、「豊明市でも制度導入を」と求めました

昨年9月に私が一般質問で取り上げた際には市独自の補助は考えていないという答弁でしたが、生活のために自動車の運転が必要な方の切実な声が各地で高まり、自治体の補助制度がこの半年で広まりました。県内では、

豊田・刈谷・安城・碧南などが実施し、名古屋市も4月から実施します。昨年10月に国が急発進等抑制装置として個別の技術認定をはじめたことも踏まえて、方針を変えたのだと思います。

### ◆これからの課題は

年齢の条件や補助率等も使いやすい制度にして普及させる必要がありますが、より根本的な要求としては「自分で運転をしなくても生活できる社会」があると考えます。自動運転の技術が発展途上のなかで当面は公共交通の充実が求められます。今回の補助制度の運営を通じて移動支援への要求の大きさ、切実さを自治体が掴み公共交通を発展させるべきではないでしょうか。日本共産党は引き続きひまわりバスの増車・増便の実現にがんばります。

### 3月議会一部欠席のことについて

2月29日に南医療生協病院で人間ドックを受診していたことから、新型コロナウイルスの感染について問い合わせました。病院は経過観察の必要はないということでしたが、万が一を考慮し3月13日まで自宅待機し議会を欠席することにしました。以後、熱は36度、体調不良もないので16日の予算委員会から復帰する見込みです。一般質問は行えませんでした。ウイルス対策の要求実現にも取り組んでいきます。

## 市が墓園、公園管理の 民営化を検討

豊明市が市営の墓園管理と都市公園管理の民営化を検討していることがわかりました。勅使にある豊明市の墓園は管理費を取らず、永代使用料で賄っています。近年の販売数は20機ほどで、取得の条件を緩和するなど対策を講じていますが、それでも運営は難しくなっていました。

### ◆公園は様々な機能を果たす公共の資産

核家族化で親族が管理できず墓地の返還が起き、継承者がいない場合を想定した合葬型の永代供養に関心が集まるなど、今後も墓園の運営は難しくなると思います。

一方、公園は散歩などで利用する住民の中にも休憩所や簡易な飲食の販売などもあってもよいのではという意見があるため、それを前提に民間の業者が参入し売上、

利益を上げられる可能性があります。そこで墓園と公園の管理を一体的に民営化できないかというサウンディング調査というものを市は実施しました。

1月に実施したときに参加した業者からは墓園に事務所を設けて、花を販売できないかといった意見が出たと市が議会で答弁しています。その施設に関係のあることで、市民の要望にも叶う内容なら事業として行ってもよいと思いますが、都市公園法の規制緩和のもと、先日のホットラインでもお伝えしたように、上野公園の木を切ってスターボックスを作ったり、松韻亭という茶室を持つ浜松城公園にもスターボックスができたり、立体都市公園制度を悪用して三井不動産が宮下公園にホテルを建てたりする事例が各地で起きています。

公園は住民の憩いの場であり、年中行事や防災の役割も担っています。営利の追求が住民の権利を侵さないように民営化の検討は避けるべきではないでしょうか。